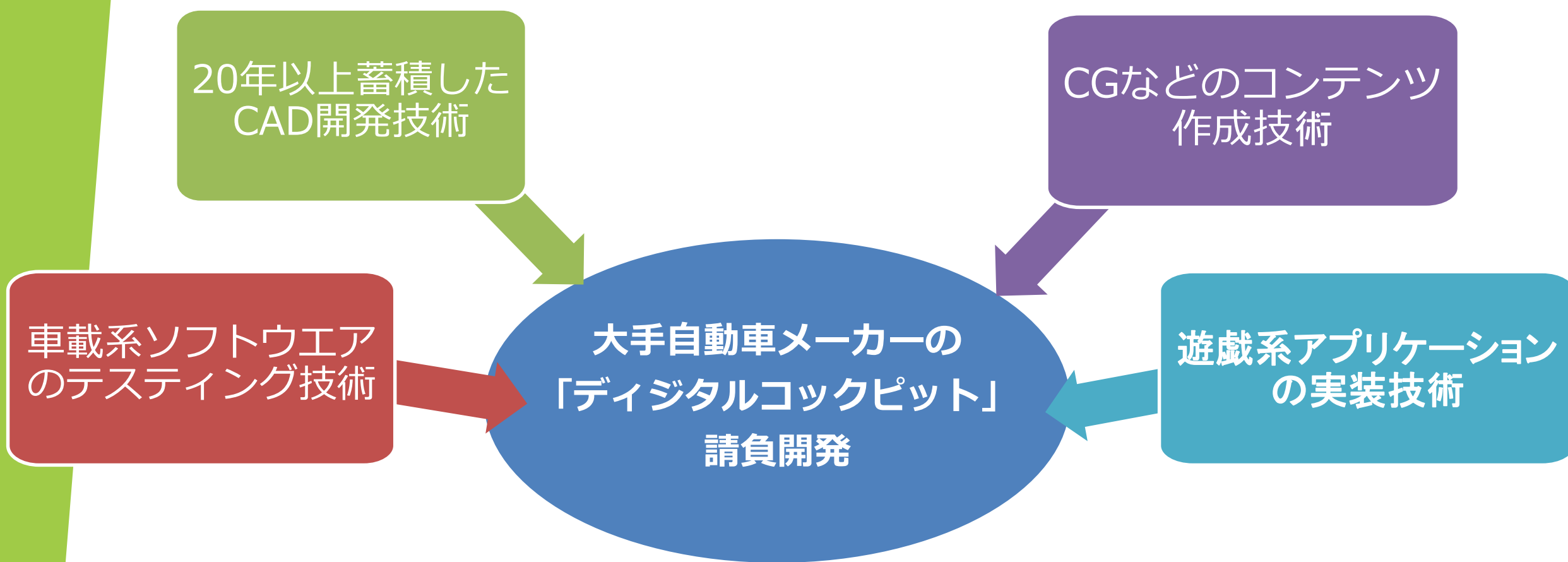


# Vehicle Cockpit Designer

## < 車載デジタルコックピットのコンテンツ制作ツール「VCD」 >

### ARTと「VCD」 開発背景

- ART (Advanced Research & Technology) 2009年設立
- 車載系システムのシステムテスト



ARTは2009年に、車載システムのソフトウェア評価を主業務とする企業として設立されました。

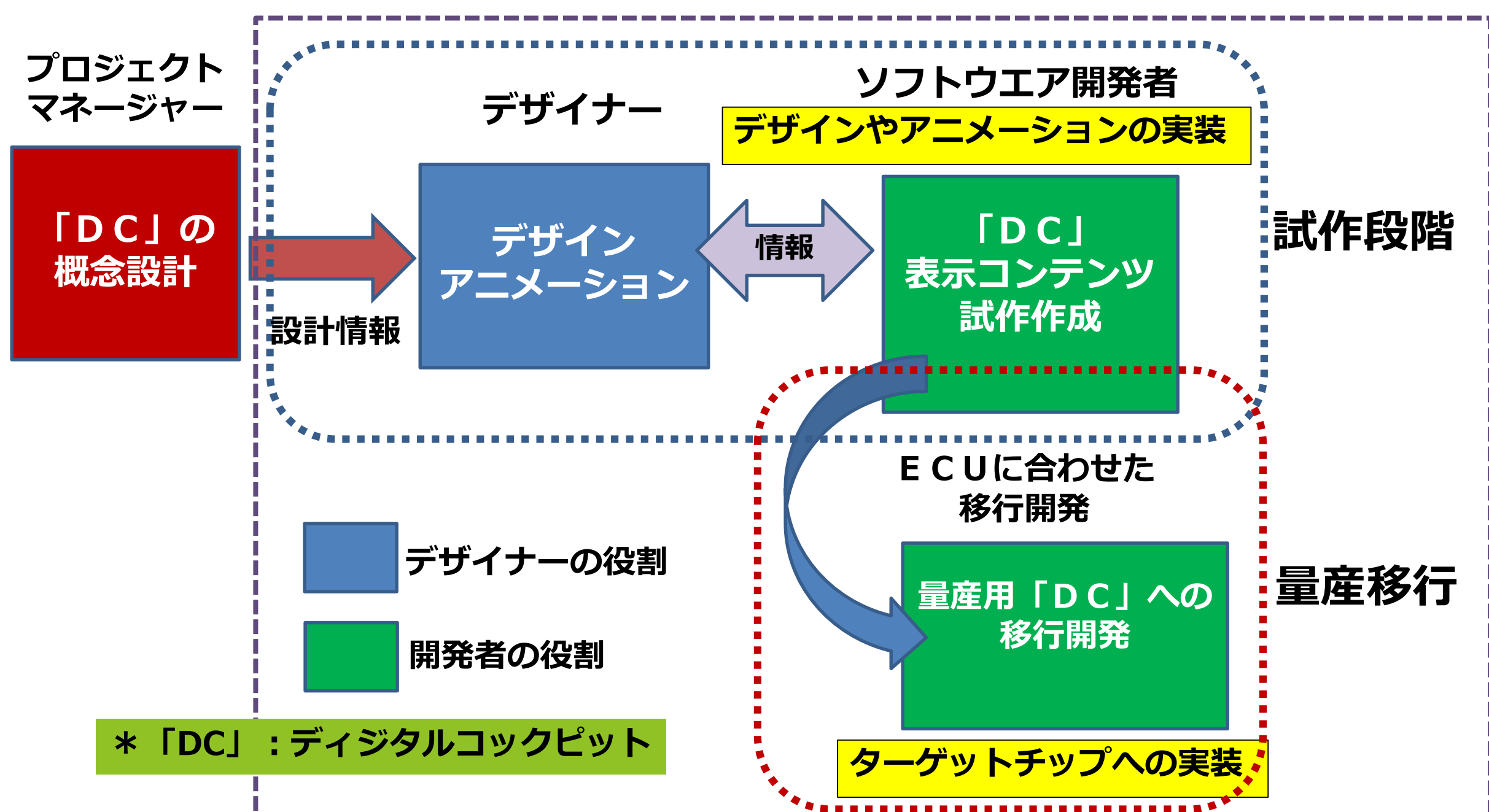
創立メンバー達は、CADシステムの開発で先進的なグラフィック技術を蓄積し、更には、コンテンツ制作会社の経営経験を通じてCGを利用したコンテンツ制作にも精通しています。

設立後は遊戯系システムのコンテンツ実装開発の請負業を通じて、アニメーションなどのコンテンツを組込系チップに実装する技術を蓄積しました。

近年、大手自動車メーカーのデジタルコックピットの開発に参画し、今まで蓄積してきた様々な技術を集約させ、この開発を成功させました

### 「VCD」の基本概念 < 1 >

#### 「VCD」システムのカバーすべき範囲



デジタルコックピットの開発は、コンテンツのデザイナーと、それをECU上に実装する開発者が相互に情報を交換しながら進めていきます。

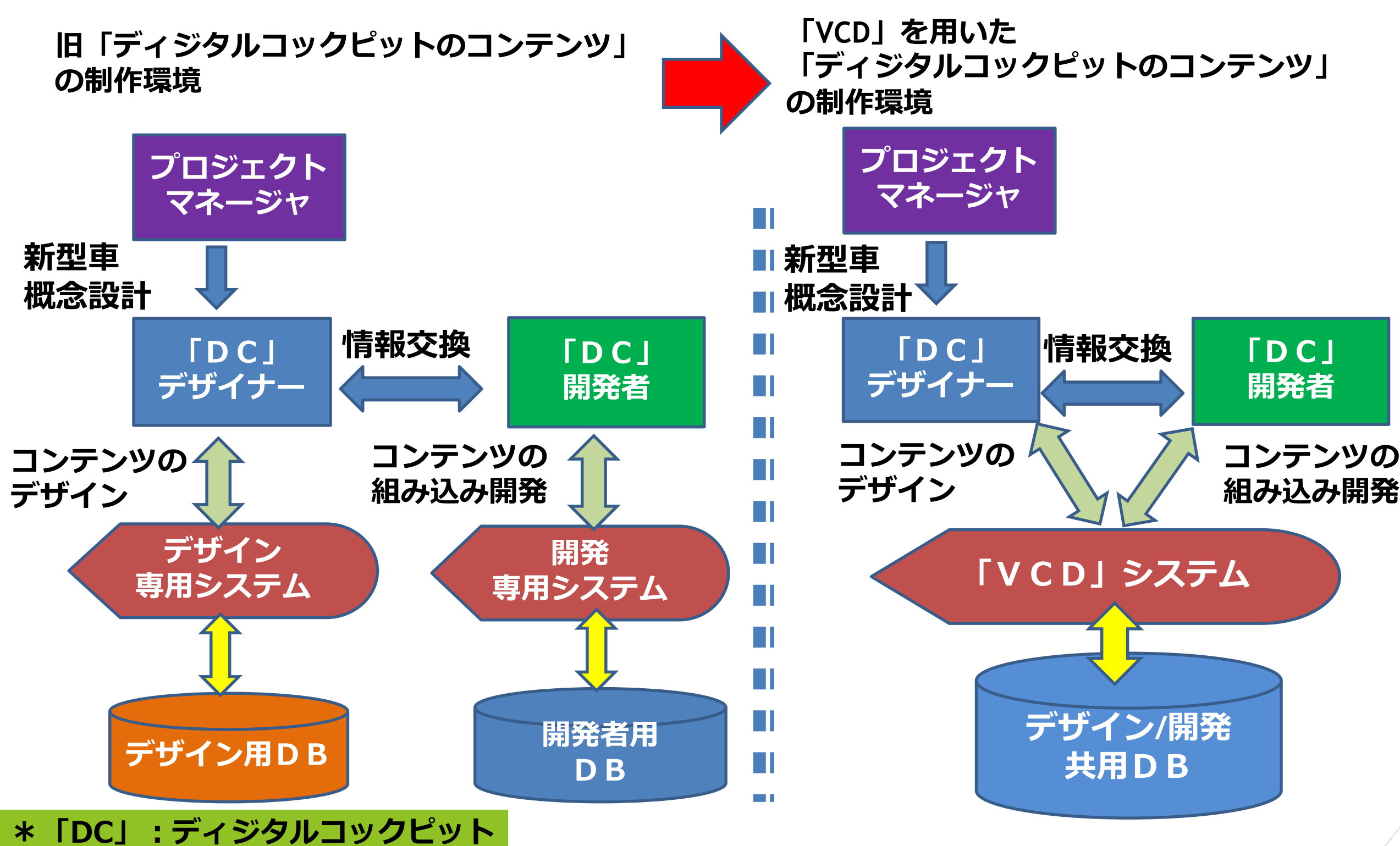
その為、効率的な開発には、デザイナーと開発者の密なコミュニケーションがとれるシステムが必要となります。

試作開発から量産に移行する際、価格などの面から見直しが行われ、量産向けの実行環境に合わせたデザイン変更と再度の実装が必要になります。

デジタルコックピットの効率的な制作開発には、試作段階と量産移行の両面をサポートできるシステムが必要であり「VCD」システムはこれをカバーできるシステムとして開発しました。

### 「VCD」の基本概念 < 2 >

#### < 「VCD」による意思疎通課題の解消 >



従来、デザイナーはデザイナー専用システムでデザインし、実装開発者は開発専用システムでデザインを再度入力したうえで、開発作業を行っていました。

デザイナーと実装開発者の意思疎通が図り易く、しかもデータの作り直しをなくすためには、デザイナー用と開発用で分離していたシステムを、統合化する必要があります。ARTは従来から蓄積した経験と技術を活用して、デザイナー用システムと開発システムを統合化した「VCD」システムの開発に成功しました。

本システムは、従来別個に存在していた、デザイナー用、実装開発用のデータベースを統合化し、更には両者が使用できるようなGUIを用意することでデザイナーとプログラマー間で相互の意思の疎通が図れるシステムになっています。